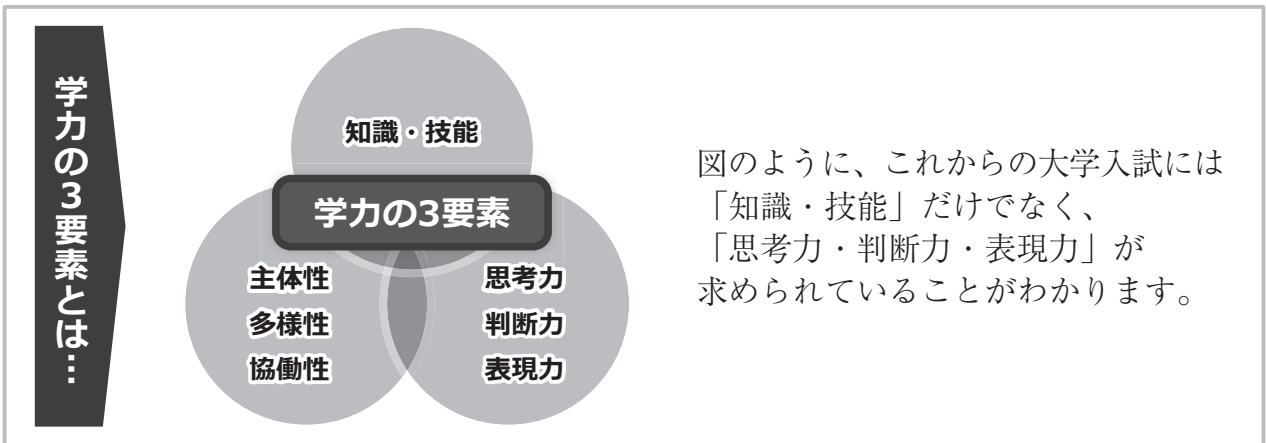




2020年大学入試対応 輝くわが子へ！ 第3回 アクティブ・ラーニング実践講座

『学力の3要素』を伸ばしましょう

現在の中学3年生が高3生となる2020年度に、センター試験の後続とされる「大学入学希望者学力評価テスト(仮)」が実施される予定です。このような教育改革が行われる一つの狙いは『学力の3要素』を伸ばすことにあります。では、『学力の3要素』とはなんのでしょうか。



では出題が予想されている問題を見ながら、「思考力・判断力・表現力」がどのような力であるか見てみましょう。

問題イメージ<例1>

次の文章とグラフを読み、後の問いに答えよ。

国立教育政策研究所「特定の課題に関する調査(論理的な思考)」(平成24年2月実施)より一部改題

次に示すのは、警察庁事故統計資料に基づいて作成された交通事故の発生件数、負傷者数、死者数のグラフで、この3つのグラフを見て、交通事故の死者数が他よりも早く、平成2年(1990年)以降減少傾向になっていることについて、4人の高校生が行った話し合いの一部である。

グラフ1: 交通事故の発生件数

グラフ2: 交通事故の負傷者数

グラフ3: 交通事故の死者数

Aさん: 交通事故の死者数が他よりも早く、平成2年(1990年)以降減少傾向になっているのは、交通安全に関する国民の意識の変化が関係しているのではないかと思います。その裏付けとなる資料として、「交通違反で検挙された人数の推移が分かる資料」があると思います。その資料を見れば、飲酒運転やスピード違反など、死亡事故につながるような重大な違反の割合が少なくなっていることが分かるはずですよ。

Bさん: 私は、この30年間で販売されてきた自動車の台数と安全性に関係があると思います。(a)つまり、自動車の台数は年々増加し続けているので事故件数と負傷者数はなかなか減らなかったけれども、(b)ということです。

例えば、最近30年間における、「車の総販売台数の推移が分かる資料」と、「車の安全に関する装置の装備率の推移が分かる資料」があれば、このことを裏付けることができると思います。

センター試験からの変更点

- ▶ 実用的な文章やグラフから情報を読み解く
- ▶ 複数の情報を分析し・統合して、自分の考えを組み立てる
- ▶ 理由や根拠を示しながら、論理的に説明・表現する

問題イメージ<例1>

Cさん: 私は、交通事故の死者数が平成2年(1990年)以降減少傾向になっているのには、医療の進歩がかかわっていると思います。交通事故にあって救急車で運ばれ一命を取り留めた人が、搬送先の病院で、「以前であれば助からなかった」と医師に言われたという話を聞いたことがあります。どうということかという、昔は事故にあって助からなかった命が助かるようになってきたので、事故の数は増えても亡くなる人は減り続けてきたのではないかと思います。その裏付けとなる資料として、例えば、交通事故における救急車の出動回数の推移と救命率の推移が分かる資料が考えられます。その資料を見れば、

イ

のではないのでしょうか。

Dさん: 私は、みなさんの意見を聞いて、次のように話し合いの内容を整理してみました。Aさん、Bさん、Cさんは、3人とも、3つのグラフを比べて1つのグラフだけが異なる傾向を示している現象に着目し、その要因について仮説を立て、その根拠として考えられる資料を挙げて、その資料から推測される内容を述べられました。これから、皆さんの仮説を検証するための検討や資料収集をしていきましょう。(以下、省略)

問1 Bさんは、下線部(a)「つまり」以下で、どのような内容を述べることになるか。空欄 ア に当てはまる適切な内容を40字以内で書きなさい(句読点を含む)。

問2 空欄 イ でCさんはどのように発言したでしょうか。あなたが考える内容を、80字以上、100字以内で書きなさい(句読点を含む)。

<解答例>

問1 ア 自動車の安全性が向上してきたので、死者数は減ってきた(26字)

問2 イ 救急車の出動回数については交通事故の発生件数や負傷者数とほぼ同様に上昇傾向で推移しているのに対し、救命率については死者数の推移とは逆に上昇傾向で推移していることが分かる(84字)

『2020年大学入試対応 輝くわが子へ!～アクティブ・ラーニング実践講座～』では、
これからの大学入試で必要とされる「思考力・判断力・表現力」を鍛えます。

授業内容

- 【メインテーマ】 思考力養成「図形を利用した問題」
【グループワーク内容】 思考力養成「立体図形を平面で表す方法」
表現力養成「『立体⇔平面』を利用して問題を解いてみよう」

- 【日程】 10月22日（日） 13：30～15：30 《120分／1コマ》
【対象】 小3～小5
【実施教室】 ICE私立専門塾・たまプラーザ教室
【料金】 6,500円（税抜）※教材・諸経費含む
【定員】 各回10名（最少実施人数：3名）
【担当】 石橋
【申込方法】 同封の申込書にご記入の上、塾事務局《045-507-7092》までFAXしてください。
※申込受付期間外のFAXは無効
《申込受付期間は、10/9（月・祝）9:00～10/20（金）17:00 とさせていただきますのでご注意ください。》

授業の特徴

特徴① 少人数・学年混合

表現力・主体性が育ちます！

ICEだから、学校ではできない10名定員制。一人一人の考えや意見を尊重し、自ら学ぶ姿勢を育てます。

特徴② 個人ワークとグループワーク

思考力・多様性が育ちます！

「ワークシート」を使い、自分で見つけた課題の解決策をじっくり考えます。
他者と議論を通じて問題解決する作業を楽しみます。



特徴③ 協働作業

判断力・協働性が育ちます！

グループ作業する中で、必要な作業・役割、必要な情報を判断していきます。



授業の流れ

1. 例題解説

グループワーク
ルール説明

2. 個人ワーク

グループワーク
※資料の添付
模造紙へ書き込み

発表

今後の授業予定
第4回 11/23（木・祝）午前

●次回授業内容
表現力養成「グラフを利用した問題」（予定）

※別途申込みが
必要です。

本講座のご質問は、塾事務局まで
お問い合わせください。

TEL

045-507-7091

FAX

045-507-7092